

栃木県社会人クラブバドミントン連盟
会長 別井 晃
【公印省略】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための 第24回栃木県社会人バドミントンリーグ戦 中止のお知らせ

平素は当連盟に対しご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。
皆様におかれましては近日各体育館の貸出再開など活動を再開できるような明るい状況になってきたところであり、当連盟でも4月の大会の実施は可能ではないかとの判断で社会人リーグ戦の実施準備を進めてきたところであります。
しかしながら表題の新型コロナウイルス感染症に関して、本県においての感染確認者は3/28現在で11人と全国的に見ても少ない状況ではあります。近県(首都圏)の感染確認者数は日毎に増加しており本県においても県知事より都内への外出自粛要請が出されるなど予断を許さない状況かと思われまます。
この状況を鑑み昨日3/28に行われた定期理事会において会長以下理事での検討を行いました。以下に述べる意見の検討を行った結果やむなく中止を決定するに至りました。大会を楽しみにされていた会員の皆様には大変ご迷惑とご心労をお掛けしますが、何卒ご理解と今後も当連盟へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

●大会を実施する場合の感染予防対策(主な検討例)

- ①定期的に会場の換気を行う(密閉を避ける)
- ②できる限り来場人数を少なくするため選手以外の入場を制限する(密集を避ける)
- ③選手同士の接触を少なくするため開会式や握手・ハイタッチ等は実施しない(密接を避ける)
- ④手指消毒やマスク着用の徹底をする(飛沫・接触感染の防止)
- ⑤ここ2週間以内の県外(特に都内)への訪問歴がある方の参加自粛を要請する
- ⑥大会当日に発熱や倦怠感などの自覚症状がある方の参加自粛を要請する

以上のような検討をした結果

- ・①今回の会場は十分な換気を行うことは困難である
- ・②専門機関でもないので入場者の管理を行うことは困難である
- ・④現在の状況で消毒液やマスクを十分に確保することは困難である
- ・⑤・⑥あくまでも自己申告しかないので実態の把握が困難かつ自粛者がいた場合にチームの人数が不足してしまうことが考えられる
- ・今回確実に実施できるのは③のみと思われる
- ・今回の大会は全国予選等必要不可欠な大会ではない

このことより参加者の皆様の安全を十分に担保することができないとの理由により今回は中止せざるを得ないとの決定に至りました
他にも決定に当たりさまざまな要素の検討を行ったことも付け加えておきます。

今回参加申込をいただいた皆様には誠にご迷惑をお掛けしますが、大会申込みに当たり実施に疑問を呈し自ら自粛を決定したチームもあるかと思えます。
その中で順位を決定していくことは公正なリーグ戦運営にはならないとも考えます。
秋のリーグ戦は皆様が安全・安心・公正の大会を実施できるよう心より祈念いたします。